

貸借対照表

(平成30年5月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	236,028	流動負債	539,337
現金及び預金	44,686	買掛金	1,131
売掛金	6,193	未払金	6,825
前渡金	16,200	未払費用	6,717
前払費用	130,159	前受金	523,205
立替金	19,671	未払法人税等	282
その他	21,264	その他	1,175
貸倒引当金	△ 2,148	固定負債	1,188
固定資産	101,256	インプラント保証引当金	1,188
有形固定資産	2,676	負債合計	540,525
建物附属設備	2,304	(純資産の部)	
工具、器具及び備品	372	株主資本	△ 203,240
無形固定資産	57,447	資本金	25,000
ソフトウェア	8,160	資本剰余金	25,000
のれん	49,286	資本準備金	25,000
投資その他の資産	41,132	利益剰余金	△ 253,240
長期貸付金	32,749	その他利益剰余金	△ 253,240
その他	8,383	繰越利益剰余金	△ 253,240
		純資産合計	△ 203,240
資産合計	337,285	負債・純資産合計	337,285

(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて記載しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における見込利用可能期間（5年）に基づき定額法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② インプラント保証引当金

インプラント保証サービスに係る再治療費の支出に備えるため、実績率等を勘案して将来発生すると見込まれる負担額を計上しております。

(3) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、個別案件ごとに判断し、20年以内の合理的な年数で均等償却しております。ただし、金額に重要性が乏しいものについては、発生時に一括償却しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

当期純損失

△68,635,068円